

# 第2次光市環境基本計画の取組状況について (平成30年度)

令和元年10月  
光市環境政策課

## 目 次

●みんなで輝く LEDで光るまちプロジェクト	.....	1
●みんなで創る エコまち推進プロジェクト	.....	3
●みんなで守る 水と緑 自然共生プロジェクト	.....	7
●みんなで進める MOTTAINAIプロジェクト	.....	13
●みんなでつなぐ 環境「まなび」プロジェクト	.....	16

# 1 みんなで輝く LEDで光るまちプロジェクト

## ●取組状況及び今後の方向性

<b>施策や事業の展開例</b> 公共施設におけるLED照明導入の推進		
<b>概要</b>	<b>平成30年度の実施状況</b>	<b>令和元年度の実施状況</b>
明るく環境にやさしいLED照明の導入を推進するため、公共施設においても積極的な導入に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共施設において、蛍光灯を用いた照明器具について、安定器の交換が必要なものは、部品交換ではなくLED照明器具への交換を行った。</li> <li>地域づくり支援センターの体育室照明について、LED照明への更新を行うとともに、文化センターの照明をLED照明へ更新するための実施設計を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共施設における照明器具の不具合が生じた際には、今後も引き続き、財政的観点に加え、照度の向上や省エネの観点も踏まえ、LED照明への交換を行う。</li> <li>文化センターの照明について、実施設計に基づきLED照明への更新を行う。</li> </ul>
<b>担当課</b>		
環境政策課 総務課 関係各課		
<b>施策や事業の展開例</b> LED照明の導入促進		
<b>概要</b>	<b>平成30年度の実施状況</b>	<b>令和元年度の実施状況</b>
地球環境への負荷低減を目的に、自らが所有する住宅にLED照明の導入促進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>省エネ生活普及促進事業(エコライフ補助金)を実施し、住宅におけるLED照明の導入に対する補助を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>省エネ生活普及促進事業(エコライフ補助金)を実施し、住宅におけるLED照明の導入に対する補助を行う。</li> </ul>
<b>担当課</b>	●補助件数:126件	
環境政策課		
<b>施策や事業の展開例</b> 街路灯・防犯灯のLED化の推進		
<b>概要</b>	<b>平成30年度の実施状況</b>	<b>令和元年度の実施状況</b>
街路灯や防犯灯について、LED照明への交換を推進する。	<p>【街路灯】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>700灯の街路灯について順次水銀灯から省エネにつながる高圧ナトリウムランプに切り替えるとともに、老朽化した街路灯を優先的にLED照明に更新した。</li> </ul> <p>《平成31年3月末時点の設置数》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●高圧ナトリウムランプ:217灯</li> <li>●LED照明:6灯</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>街路灯は省エネにつながる高圧ナトリウムランプへ切り替えるとともに、老朽化した街路灯を優先的にLED照明に更新する。</li> <li>防犯灯は引き続きLED防犯灯の新規設置推進を図る。</li> </ul>
<b>担当課</b>	【防犯灯】	
生活安全課	<ul style="list-style-type: none"> <li>5,062灯全てがLED照明となっている。</li> </ul>	
<b>施策や事業の展開例</b> LEDの活用による「光」の名の発信の推進		
<b>概要</b>	<b>平成30年度の実施状況</b>	<b>令和元年度の実施状況</b>
「光」の名を有するまちとして、LEDを活用した知名度の向上を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>LEDを活用した、光の名を発信する取組みについて検討した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>LEDを活用した、光の名を発信する取組みを検討する。</li> </ul>
<b>担当課</b>		
関係各課		

●数値目標

環境指標	策定時 (平成29年度)	近況値 (平成30年度)	目標値 (令和4年度)	達成率
①LED照明を導入している公共施設数	3件	6件	10件	60.0%
②街路灯のLED化率	0.5%	0.8%	3.0%	26.6%
③家庭でLED照明を導入している人の割合	59.1%	—	85.0%	—

## 2 みんなで創る エコまち推進プロジェクト

### ●取組状況及び今後の方向性

施策や事業の展開例		省エネルギー製品の導入促進	
概要		平成30年度の取組状況	令和元年度の取組み
	地球環境への負荷低減を目的に、自らが所有する住宅に省エネ設備の導入促進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>省エネ生活普及促進事業(エコライフ補助金)を実施し、住宅における省エネ製品(蓄電池、エネファーム、二重サッシ等)の導入に対し補助を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>省エネ生活普及促進事業(エコライフ補助金)を実施し、住宅における省エネ製品(蓄電池、エネファーム、二重サッシ等)の導入に対し補助を行う。</li> </ul>
担当課		●補助件数:58件	
	環境政策課		
施策や事業の展開例		次世代自動車の導入及び普及促進	
概要		平成30年度の取組状況	令和元年度の取組み
	公用自動車への次世代自動車の導入を推進するとともに、普及促進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業振興拠点施設「里の厨」に設置した急速充電器の維持管理を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業振興拠点施設「里の厨」に設置した急速充電器の維持管理を行う。</li> <li>「ひかりエコフェスタ2019」において次世代自動車の展示及び試乗を行い、普及促進に努める。</li> <li>「ひかり環境未来塾」において、水素エネルギーについて学ぶ一環として、水素自動車の周知、啓発を行う。</li> </ul>
担当課			
	環境政策課		
施策や事業の展開例		公共交通機関の利用促進	
概要		平成30年度の取組状況	令和元年度の取組み
	交通事業者等との連携により公共交通機関の利用促進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>「光市地域公共交通網形成計画」の施策の展開例に掲げる取組みを推進した。</li> <li>室積地区(伊保木)におけるコミュニティ交通事業を継続実施した。</li> <li>県下一斉ノーマイカーデーに協力した。</li> <li>「環境の日(6月5日)」及び「エコマルチャレンジデー(12月16日)」に、「ecomaruパス」の利用により、市内バス路線を半額で利用できる取組みを実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「光市地域公共交通網形成計画」の施策の展開例に掲げる取組みを推進する。</li> <li>室積地区(伊保木)におけるコミュニティ交通事業を継続実施する。</li> <li>県下一斉ノーマイカーデーに協力する。</li> <li>令和元年6月から、月末金曜日(プレミアムフライデー)に、「ecomaruパス」の利用により、市内の停留所で乗降するバス運賃を半額とする取組みを実施する。</li> </ul>
担当課			
	商工観光課		

施策や事業の展開例		市域全体での省エネルギー運動の促進	
概要		平成30年度の実績	令和元年度の実績
各主体が連携・協働し、市域全体での省エネルギー活動を推進する。		<ul style="list-style-type: none"> <li>市域全体でのCO2などの温室効果ガス排出抑制や環境問題に対する意識の醸成を図るため、「ecomaruバス」の利用によりバス運賃が半額となる「市民一斉ノーマイカー運動推進キャンペーン」を「環境の日(6月5日)」及び「エコマルチャレンジデー(12月16日)」に実施した。</li> <li>家庭での12月における電気使用量の削減率を競う「省エネ活動キャンペーン」を実施した。</li> </ul> <p>《市民一斉ノーマイカー運動推進キャンペーン》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ecomaruバス利用実績 環境の日:91枚 エコマルチャレンジデー:83枚</li> </ul> <p>《省エネ活動キャンペーン》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●参加世帯数:91世帯</li> <li>●報告世帯数:74世帯</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>12月第3日曜日を市域全体で省エネ活動に取り組むエコマルチャレンジデーとし、啓発に努めた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市域全体でのCO2などの温室効果ガス排出抑制や環境問題に対する意識の醸成を図るため、バス運賃が半額となる「市民一斉ノーマイカー運動推進キャンペーン」を拡充し毎月最終金曜日(プレミアムフライデー)に実施するとともに、家庭での電気使用量の削減率を競う「省エネ活動キャンペーン」も拡充し夏季、冬季の2回実施する。</li> <li>12月第3日曜日を市域全体で省エネ活動に取り組むエコマルチャレンジデーにおいて、啓発活動を行う。</li> </ul>
担当課	環境政策課		
施策や事業の展開例		地球温暖化防止に関する情報発信及び啓発活動の充実	
概要		平成30年度の実績	令和元年度の実績
地球温暖化防止に資するため、関係機関と連携し、イベント等の活用による情報発信及び啓発活動の充実を図る。		<ul style="list-style-type: none"> <li>環境問題に関する知識や理解を深めるため、光市地球温暖化対策地域協議会と協働で「エコスタイルセミナー」を実施した。</li> <li>山口県地球温暖化防止センターと連携し、梅まつりにおいて啓発のためのブースを出展した。</li> </ul> <p>《エコスタイルセミナー参加者数》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●講演会(9月2日):32人</li> <li>●見学会(10月19日):18人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境問題に関する知識や理解を深めるため、光市地球温暖化対策地域協議会と協働で「エコスタイルセミナー」を実施するとともに、山口県地球温暖化防止センターと連携し、啓発活動を行う。</li> </ul>
担当課	環境政策課		
施策や事業の展開例		燃料電池自動車の導入	
概要		平成30年度の実績	令和元年度の実績
地球温暖化防止対策の一環として、水素を活用した燃料電池自動車の公用自動車としての導入を検討する。		<ul style="list-style-type: none"> <li>導入の可否について判断するための情報収集を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>導入の可否について判断するための情報収集を行う。</li> </ul>
担当課	環境政策課		

<b>施策や事業の展開例</b>		太陽光等の自然エネルギーの導入及び利用促進	
<b>概要</b>		<b>平成30年度の実施状況</b>	<b>令和元年度の実施状況</b>
公共施設へ太陽光発電システムを導入するとともに、家庭での自然エネルギーの利用促進を図る。		・太陽光発電設備を、大和コミュニティセンター(10kw相当)及び新光総合病院(30kw相当)を設置した。	・公共施設への設置に対する補助制度等の情報収集を行う。
<b>担当課</b>			
環境政策課			
<b>施策や事業の展開例</b>		市の率先行動計画(エコオフィスプラン)の推進	
<b>概要</b>		<b>平成30年度の実施状況</b>	<b>令和元年度の実施状況</b>
本市の事務・事業活動に伴う温室効果ガスの排出抑制の取組みを推進するとともに、職員の環境意識の向上を図る。		・本庁及び出先機関からの温室効果ガスの総排出量を、平成26年度比で3%削減するという目標に対して、4.9%の削減となり目標を達成した。  ●温室効果ガス総排出量 平成26年度(基準年度) 13,204,263kg-CO <sub>2</sub> 平成30年度 12,562,383kg-CO <sub>2</sub>	・エコオフィスプランに掲げる、平成26年度比4%の削減を目指す。
<b>担当課</b>			
環境政策課			
<b>施策や事業の展開例</b>		地球温暖化対策地域協議会の活動支援	
<b>概要</b>		<b>平成30年度の実施状況</b>	<b>令和元年度の実施状況</b>
環境意識の向上及び温室効果ガスの排出抑制のため、各主体が属する本協議会の活動を支援する。		・「エコスタイルセミナー」や「市民一斉ノーマイカー運動推進キャンペーン」、「省エネ活動キャンペーン」といった、地球温暖化防止に資する事業に対し、市として共催し支援した。	・地球温暖化対策地域協議会が実施する各種事業に、市として共催し、地球温暖化防止につなげる。
<b>担当課</b>			
環境政策課			

●数値目標

環 境 指 標	策定時 (平成29年度)	近況値 (平成30年度)	目標値 (令和4年度)	達成率
①市域全体からの温室効果ガス排出量(全部門)	2,038 千t-CO <sub>2</sub> (H26)	2,384 千t-CO <sub>2</sub> (H28)	1,862 千t-CO <sub>2</sub>	78.1%
②市域全体からの温室効果ガス排出量(民生部門)	209 千t-CO <sub>2</sub> (H26)	194 千t-CO <sub>2</sub> (H28)	181 千t-CO <sub>2</sub>	93.2%
③市の施設からの温室効果ガス排出量	13,135 t-CO <sub>2</sub> (H28)	12,562 t-CO <sub>2</sub>	12,279 t-CO <sub>2</sub>	97.7%
④公共施設における太陽光発電システム設置件数	12件	14件	14件	100.0%
⑤路線バスの年間利用者数	598,194人 (H28)	555,587人	707,000人	78.5%
⑥省エネルギーに心がけている人の割合	83.8%	85.1%	95.0%	89.5%
⑦省エネルギーの推進など温暖化対策の状況に関する満足度	56.8%	—	70.0%	—
⑧自動車を控えて徒歩、公共交通機関や自転車を利用している人の割合	37.4%	—	45.0%	—

原則として、策定時の数値は平成29年度、近況値の数値は平成30年度としているが、把握が困難なものについては、( )内に記載する年度の数値を掲げている。

●参考値

項 目	策定時 (平成29年度)	近況値 (平成30年度)
太陽光など自然エネルギーの活用に関心がある人の割合	63.8%	63.6%

### 3 みんなで守る 水と緑 自然共生プロジェクト

#### ●取組状況及び今後の方向性

<b>施策や事業の展開例</b> 「自然敬愛都市宣言」のまちの周知		
<b>概要</b>	<b>平成30年度の取組状況</b>	<b>令和元年度の取組み</b>
市民の自然敬愛意識を醸成し、自然環境の保全活動を促進するため、「自然敬愛都市宣言のまち」であることの周知を図る。	・環境政策課が所有する公用車側面に「自然敬愛都市宣言のまち」の表示をし、PRに努めた。	・日本の森・滝・渚全国協議会及び市が主催する「全国自然敬愛サミット2019」において、自然敬愛の精神とともに宣言のまちであることの周知を図る。
<b>担当課</b>		
環境政策課		
<b>施策や事業の展開例</b> クリーン光大作战の推進		
<b>概要</b>	<b>平成30年度の取組状況</b>	<b>令和元年度の取組み</b>
自然敬愛への自覚と意識の向上及び青少年の社会参加活動を促進するため、年1回の市域全体での清掃活動を実施する。	・7月8日(日)に第45回クリーン光大作战を実施する予定であったが、災害対応等のため中止した。	・第46回クリーン光大作战を7月14日(日)に実施する。
<b>担当課</b>		
文化・社会教育課		
<b>施策や事業の展開例</b> アダプト・プログラムの推進		
<b>概要</b>	<b>平成30年度の取組状況</b>	<b>令和元年度の取組み</b>
環境美化ボランティア・サポート事業により、身近な道路や公園を地域で管理するアダプト・プログラムを推進する。	・事業実施団体は、昨年から1団体増えて19団体となった。市はゴミ袋などの支給や、市民活動補償制度の適用などにより、活動を支援した。	・事業実施団体に対して各種支援を継続するとともに、市HP等による事業PRを行う。
<b>担当課</b>		
地域づくり推進課		
<b>施策や事業の展開例</b> 自然環境や景観と調和した光漁港海岸(室積海岸)の保全対策の推進		
<b>概要</b>	<b>平成30年度の取組状況</b>	<b>令和元年度の取組み</b>
台風等により浸食された海岸の保全対策や高潮対策を推進する。	・室積海岸侵食の動向を確認するため、再度の試験養浜後、現地測量及び解析を行い、以後の室積海岸侵食防止対策方針を決定するための業務を一般財団法人漁港漁場漁村総合研究所へ委託し実施した。また、高潮対策の高潮堤防工事を行った。	・室積海岸侵食の動向を踏まえ、侵食防止工事の計画を策定する。また、高潮対策の高潮堤防工事を行う。
<b>担当課</b>		
農林水産課		

施策や事業の展開例		海岸松林の保全	
概要	平成30年度の取組状況	令和元年度の取組み	
本市の貴重な自然環境を良好な状態で次世代へ継承するため、松の植栽や維持管理を市民等との協働で行うなど、保全活動の推進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・室積・虹ヶ浜海岸松林において市民ボランティア等による黒松植栽及び松林の保全管理を実施した。</li> <li>●黒松植栽本数 61本 (全体本数42,096本、平成31年3月31日現在)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・室積・虹ヶ浜海岸松林において市民ボランティア等による黒松植栽及び松林の保全管理を実施する。</li> <li>●黒松植栽本数 150本 (黒松3～4年生)</li> </ul>	
担当課	農林水産課		
施策や事業の展開例		市民参加による緑化活動の推進	
概要	平成30年度の取組状況	令和元年度の取組み	
市民の自主活動による花や緑の保全活動を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民参加による緑化活動を推進するため、花壇コンクールや誕生記念植樹を開催し、公園や花壇、公共施設などの緑化を図った。</li> <li>●花壇コンクール参加団体数 67団体</li> <li>●誕生記念植樹 メイツリー ウメ:2本 ガザニアクイーンの植栽</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民参加による緑化活動を推進するため、花壇コンクールや誕生記念植樹を開催し、公園や花壇、公共施設などの緑化を図る。</li> </ul>	
担当課	都市政策課 関係各課		
施策や事業の展開例		どんぐりの森の整備	
概要	平成30年度の取組状況	令和元年度の取組み	
「どんぐり・まつぼっくり教室」の開催により、自然と身近にふれあい学ぶ場の提供や啓発活動を推進し、自然敬愛精神の醸成を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年7月豪雨災害により「どんぐり・まつぼっくり教室」は中止した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「どんぐり・まつぼっくり教室」の参加者が育てたどんぐりの苗木は、令和元年度の植栽分が最後の苗木となり、令和元年度をもって事業完了となる。</li> </ul>	
担当課	農林水産課		
施策や事業の展開例		市民の森自然観察林の整備	
概要	平成30年度の取組状況	令和元年度の取組み	
身近な森林として市民に親しまれ利用される市民の森自然観察林の整備により、森林の整備と保全の重要性の理解や意識の高揚を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健保安林としての機能を有しており、市民が森林浴やレクリエーション等の憩いの場として利用できるよう、市民の森12箇所の下刈りや樹木の剪定等の維持管理を実施した。</li> <li>●下刈:8.4ha</li> <li>●剪定:1,414㎡</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の森9箇所(閑伽の池、かおりの森、紅葉の谷を除く)の下刈りや樹木の剪定等の維持管理を実施する。</li> <li>●下刈:7.51ha</li> <li>●剪定:1,182㎡</li> </ul>	
担当課	農林水産課		

<b>施策や事業の展開例</b>		自然環境を活かした防災機能の向上	
<b>概要</b>		<b>平成30年度の実施状況</b>	<b>令和元年度の実施状況</b>
市民生活の安全、安心の向上に資する森林の持つ多面的機能を活用するため、海岸松林や森林の適正な整備を実施する。		・浅江・三井・立野・小周防の光(西)団地において約0.11ha、三輪・岩田・束荷・塩田の大和団地において約0.37ha、室積、光井・島田・立野・小周防の光(中)団地において約4.5ha森林を追加し、森林経営計画を策定した。また、光(西)団地の684.2haの森林について新たに5ヶ年の経営計画を策定した。	・大和団地において新たに5ヶ年の経営計画を策定する。
<b>担当課</b>			
農林水産課			
<b>施策や事業の展開例</b>		公園・緑地の適正な配置・保全	
<b>概要</b>		<b>平成30年度の実施状況</b>	<b>令和元年度の実施状況</b>
緑豊かなまちづくりを進めるため、「光市都市計画マスタープラン」や「光市緑の基本計画」に基づき、公園や緑地の適正な配置・保全を推進する。		・花と緑の安らぎあるまちづくりを推進するため、植樹帯の除草や街路樹の刈込み、剪定や伐採、消毒などを行った。 ・街区公園等において、樹木の刈込み、剪定、伐採、除草、トイレ清掃等を行うとともに遊具の安全点検や施設の修繕などを行った。	・花と緑の安らぎあるまちづくりを推進するため、植樹帯の除草や街路樹の刈込み、剪定や伐採、消毒などを行う。 ・街区公園等において、樹木の刈込み、剪定、伐採、除草、トイレ清掃等を行うとともに遊具の安全点検や施設の修繕などを行う。
<b>担当課</b>			
都市政策課		●近隣公園：1箇所 ●街区公園：29箇所	
<b>施策や事業の展開例</b>		自然に配慮した河川整備	
<b>概要</b>		<b>平成30年度の実施状況</b>	<b>令和元年度の実施状況</b>
自然と人とのふれあいの場の確保や自然に対する保全意識の高揚を図る。		・豪雨災害からの復旧を最優先に、島田川の河川改修事業を進めた。(県事業)	・島田川の河川改修事業を進める。
<b>担当課</b>			
道路河川課			
<b>施策や事業の展開例</b>		公共下水道や浄化槽の整備	
<b>概要</b>		<b>平成30年度の実施状況</b>	<b>令和元年度の実施状況</b>
市内の下水道認可区域における下水道未整備地区について、効率的かつ効果的に下水道を整備するとともに、下水道整備が困難な区域の合併浄化槽の設置を促進する。		・室積地区を中心に公共下水道の整備促進を図り、処理区域面積の拡大と普及率の向上を図った。 ●平成30年度末処理区域面積 979ha(前年度末971ha) ●平成30年度末普及率 80.9%(前年度末80.4%) ・生活環境及び公衆衛生のさらなる向上のため、合併処理浄化槽設置に対する助成を行った。	・引き続き、室積地区を中心に公共下水道の整備促進を図る。 ●整備予定処理区域面積:2.5ha ・生活環境及び公衆衛生のさらなる向上のため、引き続き、合併処理浄化槽設置に対する助成を行う。
<b>担当課</b>			
下水道課		●下水道認可区域外 15基 ●下水道認可区域内 5基	

<b>施策や事業の展開例</b>		安全でおいしい水の安定的供給	
<b>概要</b>		<b>平成30年度の実施状況</b>	<b>令和元年度の実施状況</b>
水質の維持管理に努め、安全でおいしい水の安定的な供給に努める。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・安定した水道水供給のため、老朽管の布設替え及び耐震化を進めた。</li> <li>●布設替え 5.1km</li> <li>●耐震管率 36.3% (H29は36.2%)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、老朽管の布設替え及び耐震化を進める。</li> <li>・水道管内を洗い流す作業である「水道管内リフレッシュ大作戦」を観音寺配水池系統(岩狩・小周防・束荷方面)で実施する。</li> </ul>
<b>担当課</b>		水道管内を洗い流す作業である「水道管内リフレッシュ大作戦」を清山配水池系統西部地区(浅江・島田方面)で実施した。	
	水道局		
<b>施策や事業の展開例</b>		鳥獣被害防止対策の推進	
<b>概要</b>		<b>平成30年度の実施状況</b>	<b>令和元年度の実施状況</b>
イノシシやサル等の有害鳥獣の捕獲や農地等への防護柵設置等の被害防止対策を推進する。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・有害鳥獣の捕獲を行うとともに、農地への防護柵設置等の被害防止対策の補助を行った。</li> <li>●捕獲頭数 イノシシ174頭、サル17頭</li> <li>●補助件数 59件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有害鳥獣の捕獲を行うとともに、農地への防護柵設置等の被害防止対策補助の拡充を図る。</li> </ul>
<b>担当課</b>			
	農林水産課		
<b>施策や事業の展開例</b>		公害防止対策の推進	
<b>概要</b>		<b>平成30年度の実施状況</b>	<b>令和元年度の実施状況</b>
大気・水質等に対する環境監視・指導体制の整備や企業等との協定による公害防止対策を推進する。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・大気や水質等についての監視を継続実施するとともに、企業や県等との連携を深め、緊急時における迅速な対応について徹底した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大気や水質等についての監視を継続実施するとともに、企業や県等との連携を深め、緊急時における迅速な対応について徹底する。</li> </ul>
<b>担当課</b>			
	環境政策課		
<b>施策や事業の展開例</b>		公共事業における環境配慮の推進	
<b>概要</b>		<b>平成30年度の実施状況</b>	<b>令和元年度の実施状況</b>
公共事業発注の際は、環境破壊や環境汚染の引き起こすことのないよう注意喚起を促す。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・入札時に配布する資料の中に、施工にあたっては、排出ガス対策型建設機械を使用することを明記した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、入札時の配布資料に、排出ガス対策型建設機械を使用することを明記する。</li> </ul>
<b>担当課</b>			
	入札監理課		
<b>施策や事業の展開例</b>		文化・歴史的資源の保存・活用	
<b>概要</b>		<b>平成30年度の実施状況</b>	<b>令和元年度の実施状況</b>
良好な景観と市民の潤いある環境を保全するため、文化や歴史的資源の保存・活用を推進する。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・史跡石城山神籠石のボランティア清掃活動を支援し、環境の美化に努めた。</li> <li>・クサフグの産卵場所の清掃並びに産卵状況の監視及び見学者の観察マナーの指導を行い、産卵場の保護活動に取り組んだ。</li> <li>・牛島のヒトツバハギの保護に努めた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財や歴史的資源の保存、活用を推進していくため、前年度と同様、各種支援、助成、維持管理、指導等を行っていく。</li> </ul>
<b>担当課</b>			
	文化・社会教育課		

施策や事業の展開例		自然環境を活かしたスポーツ活動の推進	
概要		平成30年度の実績状況	令和元年度の実績
自然環境を有効に活用し、市民のスポーツやレクリエーション活動を推進する。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・白砂青松の虹ヶ浜海岸において、自然を活用したコースを設けて、ランニングイベントを開催した。ランニング後には、参加者等の協力による海岸清掃を行い、自然環境保護活動を実施した。</li> <li>●「2018 ビーチランHikari」 参加者:154人</li> <li>・自然豊かなコースにおいて、景色を眺めながら四季を感じるウォーキングイベントを開催した。</li> <li>●「藤公の里ふれあいウォーク2018in秋」 参加者:64人</li> <li>●「第18回梅まつりコバルトウォーク」 参加者:438人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・白砂青松の虹ヶ浜海岸において、自然を活用したコースを設けて、ランニングイベントを開催する。ランニング後には、参加者等の協力による海岸清掃を行い、自然環境保護活動を実施する。</li> <li>●「2019 ビーチランHikari」</li> <li>・自然豊かなコースにおいて、景色を眺めながら四季を感じるウォーキングイベントを開催する。</li> <li>●「第19回梅まつりコバルトウォーク」</li> </ul>
担当課	体育課		

### ●数値目標

環境指標	策定時 (平成29年度)	近況値 (平成30年度)	目標値 (令和4年度)	達成率
①クリーン光大作戦の参加者数	15,869人	中止	17,000人	—
②アダプト・プログラムの参加団体数	16団体 (H28)	19団体	20団体	95.0%
③室積・虹ヶ浜海岸における松の本数	42,347本 (H28)	42,096本	42,000本 以上	100.2%
④「自然敬愛都市宣言」のまちの認知度	11.7%	—	35.0%	—
⑤山や森林など自然の緑の美しさに関する満足度	82.0%	—	90.0%	—
⑥川の水のきれいさに関する満足度	79.8%	—	85.0%	—
⑦地域・自治会等での環境美化活動に参加している人の割合	76.1%	—	85.0%	—
⑧鳥や魚、植物などの身近な生物の豊かさに関する満足度	80.9%	—	85.0%	—
⑨生活環境の快適さ(騒音や悪臭がないこと)に関する満足度	71.6%	—	80.0%	—

●参考値

項 目	策定時 (平成29年度)	近況値 (平成30年度)
自然保護や環境保全活動に参加している人の割合	10.7%	8.8%
山・川・海などの自然環境保全に対する満足度	41.1%	38.0%

## 4 みんなで進める MOTTAINAIプロジェクト

### ●取組状況及び今後の方向性

施策や事業の展開例 「もったいない」文化の醸成		
概要	平成30年度の取組状況	令和元年度の取組み
「もったいない」の精神文化を踏まえた市民の環境意識の醸成を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ひかりふるさとまつり」でマイバックを配布しながら、使い捨て商品の削減について啓発を行った。</li> <li>※実施を予定していた「ひかりエコフェスタ2018」は中止。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ひかりふるさとまつり」や「ひかりエコフェスタ2019」でマイバックを配布し、使い捨て商品の削減について啓発を行う。</li> </ul>
担当課		
環境事業課		
施策や事業の展開例 不用品交換システムの充実		
概要	平成30年度の取組状況	令和元年度の取組み
市民の不用品情報やフリーマーケット情報の提供など、リユースを推進するシステムの充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみの抑制や再使用を促進するための不用品交換システム、リユースネット(キッズ)ひかりを実施するとともに、市ホームページでフリーマーケット情報の提供を行った。</li> </ul> <p>《リユースネットひかり》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●譲ります:登録87件、成立56件</li> <li>●譲ってください:登録74件、成立25件</li> </ul> <p>《リユースキッズひかり》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●登録162件、成立133件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭での遊休品や不用品の有効活用を促進するため、「リユースネット(キッズ)ひかり」及びフリーマーケットの開催情報の提供を行う「フリマネットひかり」を継続して実施する。</li> </ul>
担当課		
環境事業課		
施策や事業の展開例 市民や事業者へのごみ問題に関する啓発活動の推進		
概要	平成30年度の取組状況	令和元年度の取組み
世代に応じた環境学習や出前講座等を継続実施するとともに、エコショップ認定店での店頭回収品目追加など、制度の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみに関する現状を周知するとともに、減量や再利用等について啓発するため、世代に応じた環境学習や出前講座を実施した。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>●幼保園児:3幼稚園、6保育園</li> <li>●小学児童:10小学校</li> <li>●中学生徒:5中学校</li> <li>●一般:14回</li> <li>●エコショップ認定店:12店舗</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学4年生や保育園児、幼稚園児を対象として、ごみの分別体験やじん芥車を活用したごみの積み込み体験などの体験型環境学習を実施するとともに、中学生に向けた環境学習については、各校の状況に応じた内容の充実を図りながら、継続して実施する。</li> </ul>
担当課		
環境事業課		
施策や事業の展開例 雑がみ再資源化の推進		
概要	平成30年度の取組状況	令和元年度の取組み
雑がみリサイクルを促進するため、各種会議やイベントで周知・啓発を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・再生可能な雑がみの回収に努めた。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>●公共施設からの雑がみ回収量 7,206kg</li> <li>●市内資源回収団体雑がみ回収量 15,867kg</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設から排出されるメモ紙やプリント等の再生可能な雑がみの再資源化を促進するとともに、市域での回収量の増加につながるよう周知、啓発に取り組む。</li> </ul>
担当課		
環境事業課		

<b>施策や事業の展開例</b>		生ごみリサイクルの推進	
<b>概要</b>		<b>平成30年度の取組状況</b>	<b>令和元年度の取組み</b>
生ごみ処理機や段ボールコンポストを活用した生ごみリサイクルの取組みを推進するとともに、家庭で簡単にできる生ごみのリサイクルについても周知する。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・生ごみの減量化に取り組むコンポスト容器等の購入者に対して、助成を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生ごみの減量化に取り組むコンポスト容器等の購入者に対して助成を行うとともに、ごみ減量等推進委員会議や出前講座で生ごみリサイクルについて周知を図る。</li> </ul>
<b>担当課</b>		《補助件数》 <ul style="list-style-type: none"> <li>●電動生ごみ処理機:7件</li> <li>●コンポスト容器:10件</li> <li>●ダンボールコンポスト:29件</li> </ul>	
	環境事業課		
<b>施策や事業の展開例</b>		ごみ処理の有料化制度の実施	
<b>概要</b>		<b>平成30年度の取組状況</b>	<b>令和元年度の取組み</b>
共同でごみ処理施設を使用している周南市・下松市の状況をはじめとする各市町の現状を踏まえ、実施に向けた検討を行う。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施に向け協議・検討を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみ処理は一部事務組合方式で行っていることから、有料化については構成市(光市、周南市、下松市)で協議・検討を行う。</li> </ul>
<b>担当課</b>			
	環境事業課		
<b>施策や事業の展開例</b>		市民ニーズに対応した収集サービスの実施	
<b>概要</b>		<b>平成30年度の取組状況</b>	<b>令和元年度の取組み</b>
必要に応じたごみ分別アプリの品目追加を行うとともに、粗大ごみ等の出張収集サービスを実施する。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・正しいごみ分別の徹底を図るため、ごみ分別アプリの周知を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民に対してごみ分別アプリの周知を行うとともに、随時、問合せの多い品目を追加し、より便利なアプリとなるようバージョンアップをする。</li> <li>・ふれあい訪問収集については、ごみ置場への排出や分解が困難な粗大ごみは、ごみ出しが困難なことから、戸別に収集する必要があると、継続して実施する。</li> </ul>
<b>担当課</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●アプリのダウンロード数 4,640件(前年比1,130件増)</li> <li>・ごみ置場への搬出や分解が困難な粗大ごみを戸別に収集する「ふれあう訪問収集」を実施した。</li> </ul>	
	環境事業課	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ふれあい訪問収集 615世帯 1,802件</li> </ul>	
<b>施策や事業の展開例</b>		エコぱーくを拠点とした再資源化の推進	
<b>概要</b>		<b>平成30年度の取組状況</b>	<b>令和元年度の取組み</b>
ごみ処理施設の見学機会の提供や分別体験等により、市民の正しいごみ分別の徹底を図る。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみ処理について、見学や体験を通して周知し、今後の正しいごみ分別につなげるため、エコぱーくの視察見学を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エコぱーくに搬入されたごみがどのように処理されているかを学び、また、自らごみの分別体験を行うことで、ごみに対する関心や意識の向上がはかれることから継続して実施する。</li> </ul>
<b>担当課</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●エコぱーくの視察見学件数:6団体</li> </ul>	
	環境事業課		

施策や事業の展開例		環境保全型農業の推進	
概要		平成30年度の実績状況	令和元年度の実績
環境への負荷軽減を図り、品質と付加価値が高い農産物の生産を推進する。		<ul style="list-style-type: none"> <li>山口県では、農業が本来有する自然循環機能を生かし、化学肥料や化学農薬の使用を低減した循環型栽培技術に取り組む農業者を「エコファーマー」として認定している。</li> <li>市内の農業者に対して、本認定制度を紹介するなど、付加価値の高い農産物の生産を推進した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、エコファーマー認定制度の周知を図り、品質と付加価値の高い農産物の生産を推進する。</li> </ul>
担当課	農林水産課	●平成30年度末認定数:10件	

### ●数値目標

環境指標	策定時 (平成29年度)	近況値 (平成30年度)	目標値 (令和4年度)	達成率
①1人1日あたりのごみの排出量	926g (H28)	969g	910g以下	93.9%
②リサイクル率	27.8% (H28)	27.9%	31.5%以上	88.5%
③ごみの最終処分量	1,187t (H28)	1,540t	1,187t以下	77.0%
④資源回収・リサイクルの状況に関する満足度	75.2%	—	85.0%	—
⑤生ごみの堆肥化や減量を行っている人の割合	42.2%	—	60.0%	—
⑥使い捨て製品の購入を控えている人の割合	69.0%	—	85.0%	—
⑦古新聞やアルミ缶等の資源回収に参加している人の割合	82.6%	—	90.0%	—

### ●参考値

項目	策定時 (平成29年度)	近況値 (平成30年度)
資源のリサイクル対策の充実に対する満足度	53.6%	49.5%
ごみの分別をきちんと行っている人の割合	94.7%	94.6%

## 5 みんなでつなぐ 環境「まなび」プロジェクト

### ●取組状況及び今後の方向性

施策や事業の展開例 「ひかりエコくらぶ」の創設及び活動の推進		
概要	平成30年度の実施状況	令和元年度の実施状況
<p>次代を担う子どもたちの自然を敬愛する心を育むとともに、様々な環境問題について認識を深めるため、「ひかりエコくらぶ」を創設し、活動を推進する。</p>	<p>・市内小学校に通学する1～3年生を対象とした「ひかりエコくらぶ」を創設するとともに隊員を募集し、抽選で選出した20人で、市内のフィールドを活用した自然体験学習会を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●応募者数:40人</li> <li>●実施回数:2回(11月、2月)</li> <li>●参加者数(付添(親等)含む) 11月開催時:37人 2月開催時:43人</li> </ul>	<p>・新たな隊員を募集し、市内のフィールドを活用した自然体験学習会を実施する。 なお、応募者が多いことから、安全性を最優先に可能な限りの受け入れを行う。</p>
<p><b>担当課</b></p> <p>環境政策課</p>		
施策や事業の展開例 環境関連講座、講演会等の実施		
概要	平成30年度の実施状況	令和元年度の実施状況
<p>市民の環境意識の醸成を図るため、講座や講演会等を実施する。</p>	<p>・地球温暖化防止や自然環境保全、ごみの分け方や出し方といった観点からの講座や講演会等を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●環境学習:3回</li> <li>●エコスタイルセミナー:講演会32人、見学会18人</li> <li>●環境講演会(天達武史氏、気象予報士):353人</li> <li>●ごみの出し方等に関する出前講座:13団体</li> </ul>	<p>・「エコスタイルセミナー」や「環境講演会」、「出前講座」等を通して、市民の環境意識の醸成を図る。</p>
<p><b>担当課</b></p> <p>環境政策課 環境事業課 関係各課</p>		
施策や事業の展開例 自然体験機会の創出		
概要	平成30年度の実施状況	令和元年度の実施状況
<p>市民の自然敬愛精神醸成のため、自然とふれあう機会を創出し、保全や継承につなげる。</p>	<p>・「ひかりエコくらぶ」の活動を通して、自然と触れ合い、自然に親しみ、自然を守る意識の醸成を図った。</p> <p>《「ひかりエコくらぶ」の内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●1回目(11月11日) 周防の森ロッジ周辺で、散策やおちばを使った遊び等</li> <li>●2回目(2月23日) 島田川で、石を使った遊び等</li> </ul>	<p>・自然の大切さを学ぶとともに、自然を敬愛する心を育むため、「ひかりエコくらぶ」や「どんぐり・まつぼっくり教室」の実施により、自然体験機会を創出する。</p>
<p><b>担当課</b></p> <p>環境政策課 農林水産課 関係各課</p>		
施策や事業の展開例 ごみの行方&エネルギーの始まり見学ツアーの実施		
概要	平成30年度の実施状況	令和元年度の実施状況
<p>市民を対象に、多様な環境関連施設の見学機会を提供し、資源循環や低炭素等、環境問題を複合的な視点から考察できるツアーを実施する。</p>	<p>・ごみ問題や再生可能エネルギー等に対する市民意識の高揚を図るため、「ごみの行方&amp;エネルギーの始まり見学ツアー」を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●実施回数:12回</li> </ul>	<p>・環境問題に対する市民意識の高揚を図るため、ごみ処理施設や再生可能エネルギー施設を見学することで、環境問題を複合的な視点から考察できるツアーを継続して実施する。</p>
<p><b>担当課</b></p> <p>環境事業課 環境政策課</p>		

<b>施策や事業の展開例</b>		小・中学校との連携体制の強化	
<b>概要</b>		<b>平成30年度の取組状況</b>	<b>令和元年度の取組み</b>
環境意識の醸成には、学校教育現場での取組みも重要であることから、行政と学校の連携体制の構築及び強化を図る。		<ul style="list-style-type: none"> <li>市内各小学校に環境学習の実施について働きかけを行い、3校で実施した。</li> <li>中学校とは、平成31年度からの取組みに向けてアンケートを実施し、連携の足がかりとした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内各小学校に働きかけを行い、地球温暖化や植物、魚類、鳥類についての環境学習を行う。</li> <li>市内中学校を対象に、市内外の企業の環境に配慮した取組み等について学ぶ「ひかり環境未来塾」を実施する。</li> </ul>
<b>担当課</b>			
環境政策課 学校教育課			
<b>施策や事業の展開例</b>		環境教育を担う人材の育成	
<b>概要</b>		<b>平成30年度の取組状況</b>	<b>令和元年度の取組み</b>
市民の環境意識の醸成や向上を図るため、環境問題について学ぶ場を提供し、環境教育を担う人材の育成につなげる。		<ul style="list-style-type: none"> <li>出前講座「創りんぐ光」において、環境関連のメニューを4項目用意し、市民の学習機会の創出を図った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>出前講座メニューについて、昨年度の4項目から新たに1項目(特定外来生物について)を加えて計5項目とし、市民の学習機会の拡大を図る。</li> </ul>
<b>担当課</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●環境関連メニューの実施 件数:13回 受講人数:320人</li> </ul>	
環境政策課 地域づくり推進課			
<b>施策や事業の展開例</b>		”光”版環境学習帳の作成	
<b>概要</b>		<b>平成30年度の取組状況</b>	<b>令和元年度の取組み</b>
光市の自然や多様な環境について学び、継承につなげていくため、環境学習帳を作成する。		<ul style="list-style-type: none"> <li>作成に向けた情報収集に努めた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>作成に向けた情報収集に努めるとともに、構想を検討する。</li> </ul>
<b>担当課</b>			
環境政策課			
<b>施策や事業の展開例</b>		地域での環境教育の促進、支援	
<b>概要</b>		<b>平成30年度の取組状況</b>	<b>令和元年度の取組み</b>
地域での特徴ある環境教育につながる取組みを促進するとともに、より効果的なものとなるよう支援する。		<ul style="list-style-type: none"> <li>環境保全団体が主催する自然体験学習会に対して後援し、広報に募集記事を掲載するなどの支援を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域や諸団体が行う環境教育に対する支援を行い、自然保護や自然敬愛につながる取組みを促進する。</li> </ul>
<b>担当課</b>			
環境政策課 関係各課			

●数値目標

環 境 指 標	策定時 (平成29年度)	近況値 (平成30年度)	目標値 (令和4年度)	達成率
①環境学習・自然体験学習等の開催数	60回	61回	65回	92.3%
②環境学習・自然体験学習等の参加者数	4,448人	3,297人	5,000人	65.9%
③自然とのふれあいの機会の多さに対する満足度	76.1%	—	85.0%	—
④環境に関する講演会やシンポジウムに参加する人の割合	18.9%	—	25.0%	—